

これからのまちづくりへ向けて

～市長と語るう2015～

市長とのふれあいトークを開催

11月8日(日)から11月26日(木)にかけて、各地区で昼夜1回ずつ合計10回の「市長とのふれあいトーク」を開催しました。当日は「まちづくりへのわたしの想い」と題して高橋市長がこれからのまちづくりについて語った後、参加者と意見交換を行いました。意見交換会には、合計313人の市民の皆さんにご参加をいただき、市政に関するご質問やご意見を頂戴しました。

その意見交換の内容を一部抜粋して紹介します。なお、紹介できなかったものについては、市ホームページで公表しています。

観光

問 外国人の観光客を激安ゲストハウスを利用して受け入れに成功している例があるが、村上也検討してはどうか。また、観光客用のトイレを充実させてほしい。

答 ゲストハウスの可能性は大きいと思うので検討したいと思います。観光客用のトイレは必要だと認識しているのですが、もう少しばらばらお待ち願いたい。

問 村上市への交流人口や移住者の傾向はどうか。また、村上市の新たな魅力づくりの具体策は。

答 関西圏からの観光客も増え、交流人口は増える傾向にあります。今年の観光バス助成事業が好評で、多くの観光客に訪れていただきました。見て体験して良かったと思えるものをつくっていきたくと思います。塩谷、海老江、出羽街道、城下町などの歴史的資産を一体的に取り組んでいければいいと考えています。

産業

問 リフォーム助成は来年度もやるのか。やるとすれば、いつごろの予定か。

答 助成総額を今年の倍の6千万円にして行う予定です。来年度に入ったらすぐに仕事ができるようにしたいと思っています。

問 岩船沖洋上風力発電を建てることによる村上市のメリットは。

答 風車のメンテナンスに関連する部品工場などが地元でできていく可能性があります。

教育

市に固定資産税が入ることや、雇用が生まれるなど、大きな経済効果があると考えています。

問 小学校の統廃合の件で、早く大きい学校に行って子どもたちが大勢の中で勉強できる環境を整えるべきだと思うのですが。

答 一刻も早くと考えています。地域の中核施設である学校がなくなるのはさみしいし、地域が疲弊するのではないかと一つ考えもあります。子どもたちのためにこの状況を解消したいと思っています。

問 奨学金制度は、大変ありがたい制度だと思うが、奨学金の貸与を受けた人が地元就職した場合は、返済期間を延ばす、返済額を減額するという措置をとってはいかがか。

答 提案いただいた内容は、いい視点だと思います。県の制度では医師を志す人への奨学

市長が語った

まちづくりへの想い

①地域に密着した支援により安心して暮らせるまちへ

- 公共交通の充実
- ・買い物弱者への支援
- ・通院および通学の支援
- 地域での支え合いの推進
- ・高齢者の健康づくり
- ・見守り体制の充実

②子育て支援の充実により笑顔があふれるまちへ

- 子育ておよび就学の支援
- ・保育料の軽減
- ・子どもの医療費支援
- ・奨学金制度のさらなる充実



- 保育、教育環境の整備
- ・保育園統廃合
- ・小学校統廃合
- ・学力向上への取り組み

③地域資源の魅力アップにより活気あふれるまちへ

- 観光資源を生かす
- ・歴史資産（城下町、北前船など）や街道、自然、ふれあい（人形さま巡り、竹灯籠など）の一体的な取り組み
- 農林水産業の基盤強化
- ・経営支援
- ・担い手育成支援

④産業の活性化により元気な経済を

- 日本海沿岸東北自動車道の早期完成
 - 岩船沖洋上風力発電の推進
 - 村上駅周辺のまちづくりの推進
 - リフォーム助成の拡充
 - ふるさと納税の効果
- ※当日の資料は、市ホームページに公表しています

金も条件付きで貸与しており、効果が見られるとのことなので、こつこつ考えた考え方をベースに検討していきたいと思っています。

まちづくり

まちづくり活動に参加して、さまざまな人と巡り会うことができ、地域を知ることでもできてよかった。まちづくり活動を地域全体に広めていくために、行政側のさまざまなノウハウの提供などの支援をお願いしたい。

今後ノウハウの提供をしていきます。これからも地域の人達が知恵や工夫を出し合って進めていっていただければと思います。

人口減少

人口減少問題の要因は働く場所がないことだと思つ。企業誘致について具体的な策はあるか。

航空機産業が好調でありま

ですので、この産業を核にして関連企業を誘致していきたいと考えています。また、他の業種にもしっかりと設備投資などへの金融政策で支援していきたいと思っています。

医療・福祉

今年市内に看護専門学校が開校し、40人以上が在学している。全国的に看護師のニーズは高く、この卒業生にはぜひ村上市に定着してもらいたいので、そのための政策を考えてもらいたい。併せて高額な学費の支援制度も必要だ。人口増にもつながる取り組みなので、ぜひ検討願う。

看護師不足は県内の病院、介護施設などで顕著であります。県の支援事業もあるので、連携しながら対策をしていきたいと考えています。市内の施設のニーズを把握して、仕組みづくりを進めたいと思います。

村上総合病院の建設が遅れていると感じる。住民意識の高揚も大切で、期成同盟会を

立ち上げて厚生連に呼びかけた方がよいという声もある。市長の考えは。



建設に向けた調整は進んでおり、しかるべき機会に説明します。一刻も早い建設というのは、行政も同じ考えです。20億円の財政支援についても、将来的な財政計画の中で決定していることなので、それらも踏まえ進めていきたいと思っています。

●問い合わせ

政策推進課企画政策室
53・2111（内線533）